

名古屋スポーツジャーナル

# SPOJA

Vol.01

**スポーツ×SDGs**

スポーツの力で  
社会課題の解決を目指す  
取り組みを発信

# スポーツ×アイデアで 都市戦略をつくる!

スポーツ交流人口の拡大と地域コミュニティの形成・強化で  
名古屋の都市イメージ向上をスポーツで切り拓く

# 名古屋の魅力や資源をスポーツとコラボして化学反応を!

～大きな”うねり“を引き起こす官民連携を目指して～

官民が連携してスポーツを通じた地域活性化、活力ある都市づくりに取り組む「名古屋スポーツコミッション」設立から半年。同コミッション会長であり、名古屋市副市長でもある杉野みどり氏に設立からこれまでを振り返っていただくとともに、同コミッションが描く未来図を語っていただきました。



## 名古屋スポーツコミッション

### 会長 杉野みどり

岐阜県出身。南山大学法学部卒業後、名古屋市役所入庁。健康福祉局高齢福祉部長、子ども青少年局子ども未来企画監、子ども青少年局長を経て2021年6月から現職。名古屋ウィメンズマラソン連続11回出場・完走の経験を持つランナーでもある。

#### スポーツ×アイデアで都市戦略をつくる!

設立から半年、多くの企業の方、プロスポーツチームをはじめ様々な団体の方々が名古屋スポーツコミッションに可能性を感じ参加して下さったことに、ま

ず深く感謝いたします。皆様からのご期待に対し、身の引き締まる思いとともに責任を感じているところです。

設立年度はまず、足元を固める時期であったと思っています。スポーツを通じて民間と行政、さまざまな団体がコラボレーションして力を出し合い、スポーツと

組み合わせる何ができるか、トライアルを行ってまいりました。例えば子どもたちがクイズを解きながらSDGsについて学ぶ「ドルフィンズクエスト」、トップスポーツチームや試合の魅力向上や地域活性化を目指す新事業の提案をする「アイデアソン」や「ピッチコンテスト」、「スポー

ツ×SDGs」をテーマとした講演など。これらのトライアルにおいてスポーツコミッションの可能性を感じていただけたのではないかと考えています。新年度は「ホップ・ステップ・ジャンプ」の「ホップ」「ステップ」の段階に進みたいと考えています。本格的なスタートですので、トライアルではなく、スポーツとの掛け算で何ができるかを企業やスポーツチームの方々とアイデアを出し合い、発想を広げ、作戦を練って、都市戦略をつくる場にしていきたいですね。

#### 官民連携で名古屋の機運がシビックプライドに繋がり”うねり”となる!

2026年開催の「アジア競技大会」への期待感が高まっています。今年の秋にはジブリパークも開園しますし、リニアの開通に向けて、名古屋の街は大きく変わろうとしています。愛知・名古屋でのこうした機運の高まりとスポーツを掛け算すると何が起こるか。行政だけでは規模感も爆発力も足りません。民間の皆さんのお力を「頂いて」一步踏み出していきたいと思えます。

行政と民間では持っているアイデア・着想も力も違います。地道な裾野の広がりを持っているのは行政の力で、前面に出る、押し出すエンジンのような力は民間のほうが強いと感じます。それぞれが力を合わせて大きなうねりを作り出したい。それが市外さらには国外からいらっしゃる方々を魅了することになると確信しています。国内外の方々に「名古屋いいね♡」と評価していただけたら、住んでいる方々も「名古屋はやっぱりいいわ♡!」というシビックプライドに繋がることでしょう。

観光や文化のコラボレーションにスポーツが加わり、官民の「うねり」の中で、名古屋を見る目が市民の側からも変わってきて、内側から変えてゆく。それがチャレンジに繋がりました名古屋に還元される。そうしたスパイラルを作る力がスポーツにはあると思っています。もちろん、楽しく、わくわく!それが大事です(笑)。

#### 名古屋スポーツコミッションの可能性に限界はない!

地域や市民の方々と繋がることで自治体や企業の中で気づけなかった新たな展開が生まれます。それがまた各団体に働いている方々のモチベーションにもなり、知恵や力が生まれる。総じてこれが市民に還元できることは魅力的なことです。「稼ぐコミッション」という言葉がありますが、金銭的に稼ぐというより、まさに地域や市民とつながり、良いイメージや無限の可能性を共有して、力を合わせていくことにより地域が活性化し経済効果にも波及していく、これが名古屋が「稼ぐ」という意味だと思っています。

「名古屋スポーツコミッション」は、志を同じくして集まった会員の皆様と一緒に運営していきたいと思えます。官と民の力を合わせた中立的な組織でもあります。会員の皆様にはぜひ自分ごとと



名古屋ウィメンズマラソンを笑顔で走る杉野会長

感じていただき、志を同じくして一緒に切磋琢磨していく組織にしていきたいですね。そのために、もちろん事務局は汗をかきます。アイデアを出すことに何のハードルもありませんし、正解もありません。これからの可能性を求めるのが名古屋スポーツコミッションです。この可能性に限界は無いと思っています。

#### 名古屋の力や資源とスポーツの化学反応に期待

名古屋スポーツコミッションでは、大規模イベントの開催のみならず、名古屋の持っている力、資源を活かした企画を考えています。一つは武家文化と武道とのコラボレーション。京都の公家や大阪の商人とは違い、名古屋にはちょっと無骨だけど脈々と培ってきた武家文化があります。これと武道を掛け合わせれば、恐らく海外からのお客様は強く惹きつけられることでしょう。他の自治体では、自然の魅力を使って人を呼び込む試みも行われていますが、名古屋の場合、自然なのか文化なのか、大規模イベントの際の施設同士の連携なのか。武道に限らずスポーツとの掛け合わせによる化学反応を探り、戦略を立てていくことが重要だと考えています。

一方、東京オリンピックから新競技として加わった、スケートボードやBMXのようなアーバンスポーツが大きな話題となりました。また、eスポーツやパラスポーツ競技にもなっているポッチャなどは、年齢やハンディに関わらず、一緒に競い合って喜びを分かち合え、感動を共有できます。

こうした新たな動きも積極的に取り入れながら、会員の皆さんと行政が一緒になって、様々なスポーツと名古屋の持っている力や資源を掛け合わせてどんな化学反応を起こすことができるか大いに期待しています。

# SPORTS × SDGs

私たちのSDGsの達成に向けた  
取組みの一例をご紹介します



# スポーツ × SDGs

令和3年12月14日(火)SDGsフェスティバル in丸の内(名古屋東京海上日動ビルディング)において行われたSDGsまつりにて、スポーツの力で社会課題の解決を目指す事例を通して、「スポーツ×SDGs」を名古屋スポーツコミッションとして取り組むことを発信する目的でセミナーを開催いたしました。

セミナーの中で、ご登壇者の皆様から、当団体へ向けて「スポーツを通じてだれ一人取り残さない社会の実現」に向けて全体を繋ぐ磁石のような役割を担ってほしい、今までどこもやっていないことに積極的にチャレンジしてほしいなど期待のお言葉をいただきました。

名古屋市の明るい未来をスポーツで切り拓くために、これからも活動を続けていきます。

名古屋スポーツコミッションのSDGsの取組みをブースで展示しました。



**名古屋グランパス**  
楽しくゴミ拾いを行うプロキングを実施。スポーツSDGsで持続可能な社会を目指して。



**大同特殊鋼株式会社**  
スポーツを生かした人づくり。



**名古屋市教育スポーツ協会**  
市民が健康的な生活を営むことができる社会の実現を目指して。



**第一生命保険株式会社**  
健康増進に取り組む全国の市民ランナーを応援しています。



**名古屋ダイヤモンドドルフィンズ**  
日本初!国連スポーツ気候行動枠組“High-Ambition Track”への参画認定。



**学校法人名城大学**  
すべての人の手に届く質の高い教育空間を整備する。



**一般社団法人コムパス×スポーツ**  
スポーツを通じたボランティア文化の醸成。



**NTTドコモ東海支社**  
海岸・川でのフレキシブル清掃ビーチクリーン&リバークリーン。



**株式会社日本旅行**  
健康増進および生き生きと働ける環境作りを「旅」の力でサポート。

# スポーツで 未来を 照らす。



<https://nagoyasc.jp/>

人を惹きつける力、  
熱中させる力のある  
スポーツを活かし、  
名古屋の明るい未来を描きます。

1201・1203

SPORTEC2021東京  
ブース出展にてPR活動



日本最大のスポーツ・フィットネス・健康産業総合展「SPORTEC2021」が東京ビックサイトにて開催されブース出展。コミッションと正・準会員様のSDGs取組みパネル展示にてPR活動を行った。

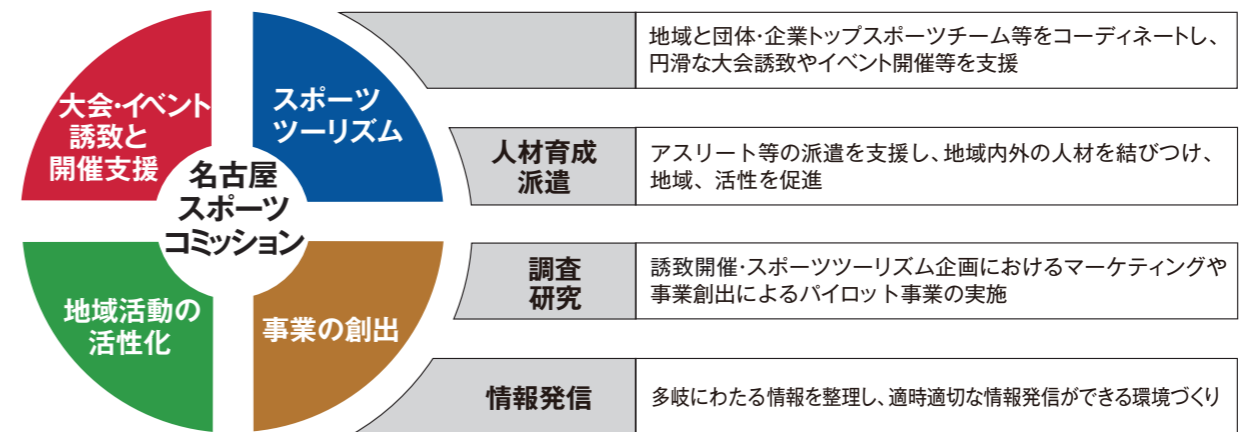
## 設立目的

当団体は、スポーツ庁が官・民・スポーツ団体が一体となったスポーツコミッションの設置を推進していることを受け、スポーツツーリズムの推進、スポーツイベントの開催や大会・合宿等の誘致により、交流人口の拡大と地域コミュニティの形成・強化等を目的として発足されました。多数のトップスポーツチームや大規模大会の開催が可能な施設を有する名古屋市の強みを生かし、名古屋市の明るい未来をスポーツで切り拓いていきます。

## 位置付けと機能

当団体は、地方公共団体とスポーツ団体、観光産業等の民間事業者と連携し、スポーツの復興のみならず、地域課題の解決や交流人口の増加さらには、都市イメージの向上へつなげます。  
また、名古屋市では令和8年(2026年)には第20回アジア競技大会の開催を予定しており、スポーツ機運が盛り上がることから、この機会を捉え、官民連携の組織として「名古屋スポーツコミッション」を設置することで、様々な事業推進のエンジンとしての機能を担うものと考えます。

## 機能・事業



## 名古屋スポーツコミッション今までの取り組み(抜粋)

0907

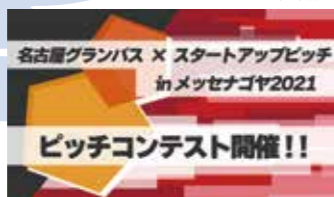
名古屋スポーツコミッション  
設立総会・結団式開催



名古屋スポーツコミッションの設立総会を名古屋市公館にて開催。規約に基づき名古屋スポーツコミッションが設立され、その後、役員を選任及び令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算が審議され、承認された。

1112

名古屋グランパス×  
スタートアップピッチ  
in メッセナゴヤ2021共催



名古屋グランパスが抱える課題に対し、全国のスタートアップに提案するピッチコンテストを「メッセナゴヤ2021」開催。スポーツクラブの魅力向上、地域の活性化を目指すため、プロスポーツクラブとスタートアップのオープンイノベーションを推進した。

1010

名古屋市スポーツテックアイデアソン  
with名古屋オーシャンズを開催



名古屋スポーツコミッションの4つの機能のうち、「事業の創出」はスポーツ産業と他産業をマッチングさせて新たな付加価値を生み出す。名古屋オーシャンズと実施した「スポーツ×○○」で新たな付加価値を見出し、名古屋市のスポーツ活性化につなげた。

0915

名古屋スポーツコミッションによる  
大型パネルを設置



名古屋スポーツコミッションのPR及び市民の皆様へのスポーツへの興味・関心を高め、地域における賑わい創出に寄与することを目的に、ナゴヤドーム前矢田駅1番出入口付近に大型パネルを設置した。

0920・0926

栄モリチカビジョン、  
セントラルパークビジョン  
サイネージ実施



栄モリチカビジョン等を活用して、名古屋スポーツコミッションの認知度向上を目指すためセントラルパーク等におけるプロモーションを実施。

0927

久屋大通に  
選手バナーを掲出



久屋大通街路灯に名古屋スポーツコミッションの周知とスポーツにより地域活性化を図る目的でバナーを掲出した。

1004

「ドルフィンズクエスト」を実施



試合観戦に訪れた小学生を対象に、ドルフィンズアリーナを回ってクイズを解きながらSDGsについて学ぶことのできるクイズラリー型体験学習アトラクション「ドルフィンズクエスト」を実施。

1012・1014

名古屋スポーツコミッションによる  
プロモーション動画を制作



名古屋スポーツコミッションの会員である株式会社中日ドラゴンズ様のご協力のもと、今シーズンのハイライトシーンをまとめた動画を制作。スポーツへの興味・関心を高め、スポーツと地域を結びつけ、地域の賑わい創出とシビックプライドの向上を目指した。

# 名古屋スポーツコミッション会員

## 正会員



名古屋商工会議所  
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

名古屋商工会議所



中日ドラゴンズ



名古屋オーシャンズ



名古屋グランパス



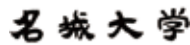
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ



大同特殊鋼株式会社



学校法人梅村学園



学校法人名城大学



株式会社 NTT ドコモ



一般社団法人コムパス・スポーツ

一生涯のパートナー



第一生命保険株式会社



中京テレビ放送株式会社



ランドマーク エンターテイメント株式会社



公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会  
(名古屋市体育協会)

## 準会員



株式会社日本旅行

## 賛助会員



公益財団法人  
名古屋観光コンベンションビューロー



一般社団法人  
愛知県ラグビーフットボール協会



コカ・コーラ ボトラーズジャパン  
株式会社



株式会社コングレ



株式会社スマートノート

鮎のつかみどり

高田水産



株式会社中部経済新聞社



凸版印刷株式会社



社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団



有限会社濃州堂



ポッカサッポロフード&ビバレッジ  
株式会社



株式会社マイナビ



山田会計事務所